

## 3月の寒さにさくらもびっくり？！ 乱れた開花の法則

VOL.8[2024.4]

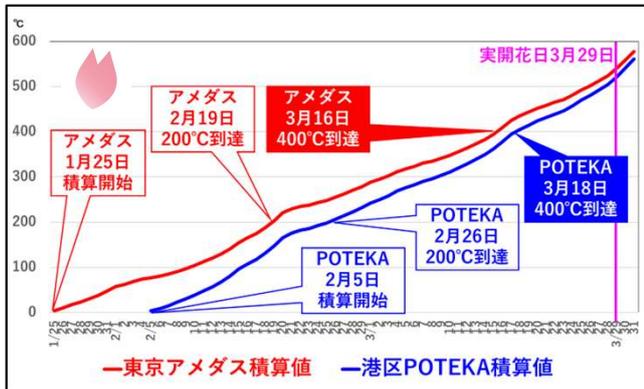
2024年、日本の冬（前年12～2月）は観測史上2番目の高温（平年差+1.27℃）で大暖冬となりました。一方で、近年、3月は地球温暖化の影響を最も受ける月ともされてきましたが、今年の3月は実に7年振りとなる平年並みの寒さとなりました。気象予報業界でも、この3月の低温を予想することは難しかったようで、皆様も予想外の寒さに驚かれたのではないのでしょうか？  
この寒さにびっくりしたのは、我々人間だけではなかったのかもしれない。

さくら開花時期を予想する計算式があることは、以前にも記事にしました（VOL.2[2023.4]）。平均気温400℃方式と最高気温600℃方式で、基本は冬の最寒日から開始し、それぞれ平均気温積算が400℃、あるいは最高気温積算が600℃に到達した日に、さくらが開花するという法則です。観測史上最早の開花となった昨年は、開花予想計算が見事大的中！今年も、東京アメダスと港区POTEKAの気温データを利用して（図1）、東京のさくらの開花時期を予想計算してみました。。

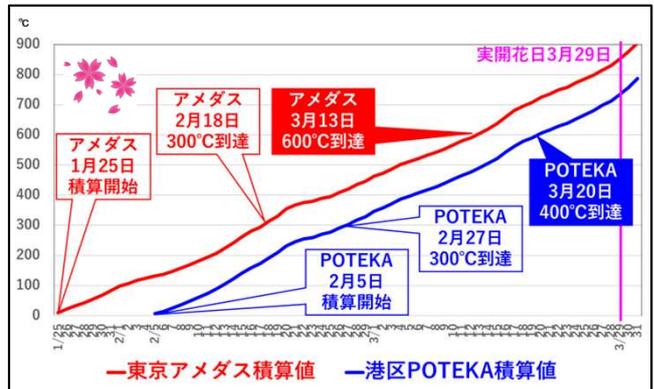


【図1】さくら標本木、アメダス、POTEKAの位置関係

平均気温400℃方式では、アメダスは3月16日、POTEKAは3月18日に開花予想（図2）。最高気温600℃方式では、アメダスは3月13日、POTEKAは3月20日に開花予想（図3）。しかし、実際の東京のさくら開花日は3月29日でした。。  
ここ数年、ずれても5日程度だった開花予想。予想日から約2週間も遅れた開花は、1962年以来62年振りと言われてています。



【図2】平均気温400℃方式 開花予想結果



【図3】最高気温600℃方式 開花予想結果

少し細かいデータですが、それぞれの方式で積算気温の半分（400℃方式で200℃、600℃方式で300℃）到達の前後日数を確認すると、表1のようになりました。例年であれば当然3月は2月よりも暖かいので、後半日数は前半日数よりも短いはずですが、本年は同日数かそれ以上となっていました。いつもとは異なったこの気温上昇度合が、さくらの開花時期を乱したのかもしれない。

	0⇒200℃ 0⇒300℃	200⇒400℃ 300⇒600℃
400℃方式 アメダス	26日	27日
400℃方式 POTEKA	22日	22日
600℃方式 アメダス	25日	25日
600℃方式 POTEKA	23日	23日

【表1】積算気温半分到達の前後日数

☆おまけ☆  
VOL.6[2023.12]でご紹介した『つくば市竜巻災害から11年シンポジウム』での当社の講演内容が、Youtubeにて一般公開されました！ぜひご覧ください♪  
<https://www.youtube.com/watch?v=3qA83QE2Z3w>